

製品名: PDX1 (9B19) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe15935**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	31kDa

抗原情報

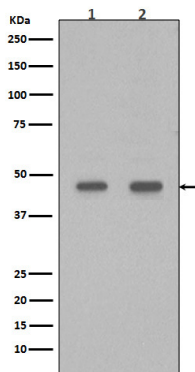
遺伝子名	PDX1
別名	GSF;IPF1;IUF1;IDX-1;MODY4;PDX-1;STF-1;
遺伝子 ID	3651.0
SwissProt ID	P52945
免疫原	ヒト PDX1 の組み換えタンパク質

背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インスリン、ソマトスタチン、グルコキナーゼ、膵島アミロイドポリペプチド、およびグルコーストランスポーター 2 型など、いくつかの遺伝子の転写活性化因子です。コードされる核タンパク質は膵臓の初期発生に関与しており、インスリン遺伝子発現のグルコース依存性調節において主要な役割を果たします。インスリン、ソマトスタチン、グルコキナーゼ、膵島アミロイドポリペプチド、およびグルコーストランスポーター 2 型遺伝子の転写を活性化します。特に、インスリン遺伝子転写のグルコース依存性調節に関与しています。膵臓腺房細胞内の PDX1:PBX1b:MEIS2b 複合体の一部として、ELA1 エンハンサーの転写活性化に関与しています。この複合体はエンハンサー B エlement に結合し、エンハンサー A エlement に結合した転写因子 1 複合体 (PTF1) と連携します。DNA モチーフ 5'-[CT]TAAT[TG]-3' に優先的に結合します。発生過程においては、膵臓上皮の初期段階を規定し、その増殖、分岐、そしてその後の分化を可能にする。成体段階では、 β 細胞のホルモン産生表現型の維持に必要となる。

研究分野

画像データ



(1) Caco-2 細胞溶解物、(2) BxPC-3 細胞溶解物中の PDX1 のウエスタンブロット解析。